

放課後等デイサービスあお 事業所職員向け自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			基準は満たしている。 当施設は安静室などの個別の部屋、ロッカー、遊具、学習スペースをのぞいて約70㎡となっています。児童一人あたり7㎡になります。
	2	職員の配置数は適切であるか	7			職員は有資格者、児童指導員、研修修了者を配置している。 1日1日の配置数の確認を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5		トイレのバリアフリー確保が難しいトイレのバリアフリー改善が必要一室内は全て段差のないバリアフリーになっています。また、手すりが設置されています。 トイレのスペース確保が難しい一建物の構造上、二つトイレを設置する為には、現在の広さでの確保が限界です。広さの改善が必要な際は、トイレを一つ取り壊し、広いトイレ1箇所のみを設置となります。改善が必要な場合は検討したいと思います。 同敷地内のクリニックと共有の階段には手すりの設置がされている。 共有のエレベーター有。車椅子の利用児童が利用できる配慮にはなっている。 療育室内に手すりはありませんが、必要であれば設置を検討する。また、聴覚障がい児童等へのバリアフリー化の配慮に関しても必要であれば設置を検討する必要がある。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2		定期的に話し合いを行い、情報共有を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		職員会議にて保護者向け評価表の結果を把握周知し、改善することを共有している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		ホームページに掲載し公開している。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1		内部研修、外部への研修に参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			アセスメントシートにて保護者への聞き取り、利用児童への聞き取りも行い、職員会議にてニーズや課題を共有し、計画を作成している。
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1		WISKや田中ビネー等の検査を受けられた方には、出来るだけ結果をお知らせいただくようお願いしている。 アセスメントツールを把握していない部分があると思う。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			職員間で協力出来ている。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			定期的な職員会議にて話し合い活動プログラムが固定化しないよう、また、個々に必要な支援内容についても話し合うようにしている。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		定期的な職員会議にて話し合い、課題を決め実施している。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			定期的な職員会議にて個別活動と集団活動の内容を話し合い、計画会議の際に活動に必要な支援内容を作成している。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7			
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		下校時間の急な変更時に連絡がなかった日があった。学校等関連機関の会議には必ず参加し、情報共有している。また、送迎等の連絡調整も不明な点等あれば確認を行っている。しかし、下校時間の変更時の連携が困難なケースがある為、更なる改善に向けて学校や保護者との連携を行っていく。
	20	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		新入学の児童がいる場合など、積極的に連携を図っている。
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		専門機関に保護者の承諾のもと、助言を受けたり、専門機関の研修があれば参加している。
	22	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7			管理者が参加している。
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時や直接連絡をしたりして発達の状況や課題について共通理解に努めている。
	24	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4		コロナ禍で難しい部分があった。
保護者への説明責任等	25	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		重要事項説明書を説明する際に（利用開始前）にご説明を実施している。
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		保護者からの連絡に応じて対応したり、必要に応じて直接ご連絡をして最近のご自宅や学校での様子をお伺いしている。
	27	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		苦情窓口に関する説明は重要事項説明書の説明（利用開始前）を行う際に行っている。苦情や悩み、支援内容など不明な点等のご相談があれば迅速に対応している。
	28	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		毎月、お知らせと行事予定を配布している。
	29	個人情報に十分注意しているか	7			十分に注意し、取り扱っている。
	30	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			特性にあった支援方法にて利用児童に意思疎通や情報伝達を行い、また、保護者にも配慮した意思疎通・情報伝達を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	31	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1		マニュアルを作成し事業所内に掲示、また職員に配布を行っている。
	32	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		年に2回避難訓練を行っている。(うち、1回は消防署の立ち会いのもと実施)
	33	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			毎日、振り返りシートに記載や研修を行っている。
	34	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1		デイサービスの支援計画書に記載し、計画書の説明時にご理解いただいている。また、今年から新たに指針を盛り、職員への周知とより具体的な内容を記載した同意書を保護者へ頂いている。
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		保護者へアセスメントの実施の際に必ず確認を行い、職員全員に周知している。
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			報告書を設けている。また、個別の支援会議での検討事項の際に共有を行っている。